

台東育英

VOL. 21

台東区立台東育英小学校

No. 1

校長 瀬下 清

<http://www.taitocity.net/taidoukuei-s/>

新年度を迎えて ～困難に負けない一人一人に～

校長 瀬下 清

春のうらかな日差しが、顔をのぞかせた若葉にも降りそそいでいます。令和3年度、台東育英小学校の教育活動が始まりました。保護者の皆様のおかれましては、お子様のご入学、ご進級、誠におめでとうございます。本校は、59名の新入生を迎え、全校児童402名13学級で元気いっぱいにスタートいたしました。

令和3年度は、台東育英小学校創立20周年という佳節を迎えます。これまで多くの諸先輩方が築いてこられた良き伝統を受け継ぎ、さらに良き校風として、つくり、伝えていきたいと思えます。特に、本校の良き校風の一つとして、学校・家庭（PTA）・地域が一体となって、台東育英小の子供たちを育てていく場が多くあることです。現在は、コロナ禍によって、機会が少なくなったことは残念ですが、子供たちが学校行事以外の諸行事に参加し、異年齢集団や異世代集団の一員となって活動することで、生活習慣や礼儀、社会生活のモラルなど、豊かな人間性や社会性を身に付けることができます。そうした活動ができる一年間にしていきたいと思えます。

さて、以前、中学校の校長先生から伺ったことです。その中学校には、全盲の両親のもとで成長してきた女子生徒がいるという話でした。その女子生徒は、両親に新聞を読んで聞かせることを日課としているそうです。自治体主催の作文コンクールでは、困難に負けることなく朗らかに生きることの大切さを訴え、見事に最優秀賞に選ばれたそうです。学校の中では、社会貢献できる人を目指して、懸命に勉学に励んでいるとのことでした。私は、この話を伺って、ご両親を支えながら生きている女子生徒の健気な姿、そして、言葉に尽くせぬ試練を乗り越えてこられたに違いないご両親の努力を考えると、心から感動すると共に、力強い生き方を学ぶことができました。

台東育英小学校の子供たちには、困難にぶつかったとしても、朗らかに力強く生きていける子供たちに成長してほしいと願っています。未だコロナ禍の状況は続いています。こうした中であるからこそ、貴重な経験ができ、困難に負けることのない生き方を身に付けていけるチャンスであると考えます。一人一人の子供たちの笑顔が輝けるよう全力を尽くしていく所存です。本年度も、本校の教育活動にご理解とご支援のほど、何卒よろしくお願いを申し上げます。